

(単元) 文語の表現の特色に注意して読む (古文入門)

(本時のねらい)

今回、面接指導を行う「ベーシック国語」は、高校入学前に学ぶべき基本的な事項について学ぶ科目である。この科目を履修している生徒は、これまであまり古文に触れることなく今回のレポート課題に臨む生徒がほとんどである。そのような生徒に対して、古文の特徴や初歩的な規則について、一人一人に目を配り丁寧に指導することにより、文語について知る楽しさを伝え、レポート課題に向かう意欲を持ってもらえるよう本時の学習を計画した。

(ICT活用方法)

説明は主にプレゼンテーションソフトを用いた。

今回扱う作品『平家物語』について、生徒がイメージをもてるように、できるだけ多くの資料を用いた。これまでは教科書や便覧を用いて説明していたが、使える資料に限られる上に時間もかかるため、ICT機器を用いることはとても有効だと感じた。

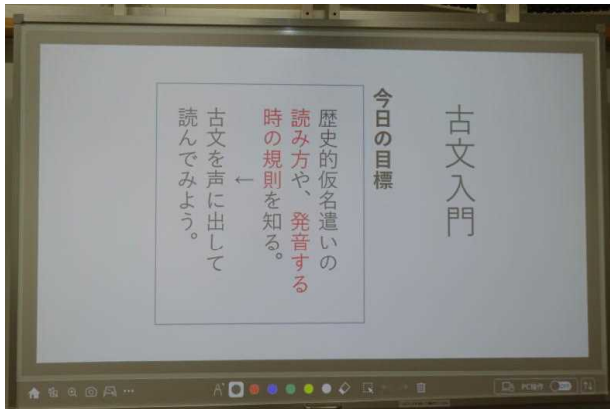
また、古文の規則についても、従来であれば教科書と板書で説明していたのだが、プレゼンテーションソフトで説明することにより、より効率的に説明できるようになった。

(本時の展開)

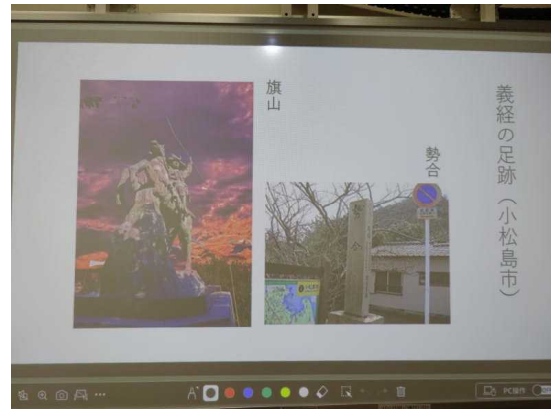
時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 15分	○『平家物語』について知る。 ・『平家物語』に関する質問に答える。  ○テキストに掲載されている『平家物語』の朗読を聞く。	・『平家物語』の説明をする。 ・質問は Yes-No で答えられるものにする。 ・現代の読み方と異なるところに留意して聞くよう言葉かけをする。	・ICT機器 (生徒1人1台端末、プロジェクター等) を活用して多くの写真を提示し、『平家物語』についてのイメージを持たせる。
展開 30分	○古文の規則について学ぶ。 ・説明を聞く。 ・問題 (ワークシート) に取り組む。 ○学習したことを意識しながら本文を音読する。教員の後について、声に出して読む。	・簡潔に、分かりやすく必要事項をまとめる。  ・明瞭に、ゆっくり読むことを心がける。	・プレゼンテーションソフトを用いて、効率的に情報を伝える。
まとめ 5分	○本時のまとめを聞く。	・今回学習したことを確認し、これからの古文	

	学習に対する意識づけ をする。	
--	--------------------	--

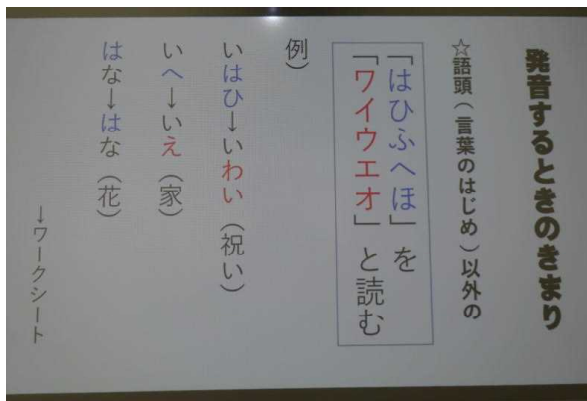
(授業の様子)



本時の目標の提示



『平家物語』の紹介 (徳島との関連)



古文の規則の説明



授業の様子

(生徒の反応と課題, 改善を要する点)

通信制課程では、限られた時間のなかで、その単元の要点を効率よく生徒に伝える必要があり、ICT 機器の使用は非常に有効であると感じた。授業中下を向きがちな生徒も、前を向くことが多くなり、雰囲気明るくなったように思う。

改善を要する点として、現在はプレゼンテーションソフトで作成した資料を電子黒板に写して説明しているが、電子黒板には他にも多くの機能があり、それを使いこなすスキルを身に付けることが必要だと感じた。また、生徒に貸与されている1人1台端末の活用の仕方についても、研修等を通じて学んでいきたい。